

---

# 2023年3月期第2四半期 決算説明会

---

株式会社クロスキャット

2022年11月18日



# 2023年3月期第2四半期決算説明会

## 【第1部】

取締役常務執行役員 山下 智己

### 1.2023年3月期第2四半期 決算の概要

## 【第2部】

代表取締役社長 井上 貴功

### 2-1.両利きの経営の進捗について（深化と探索）

### 2-2.両利きの経営（深化）

### 2-3.両利きの経営（探索）

# 1. 2023年3月期第2四半期 決算の概要

---



## 1-1. 2023年3月期第2四半期 決算の概要(連結)

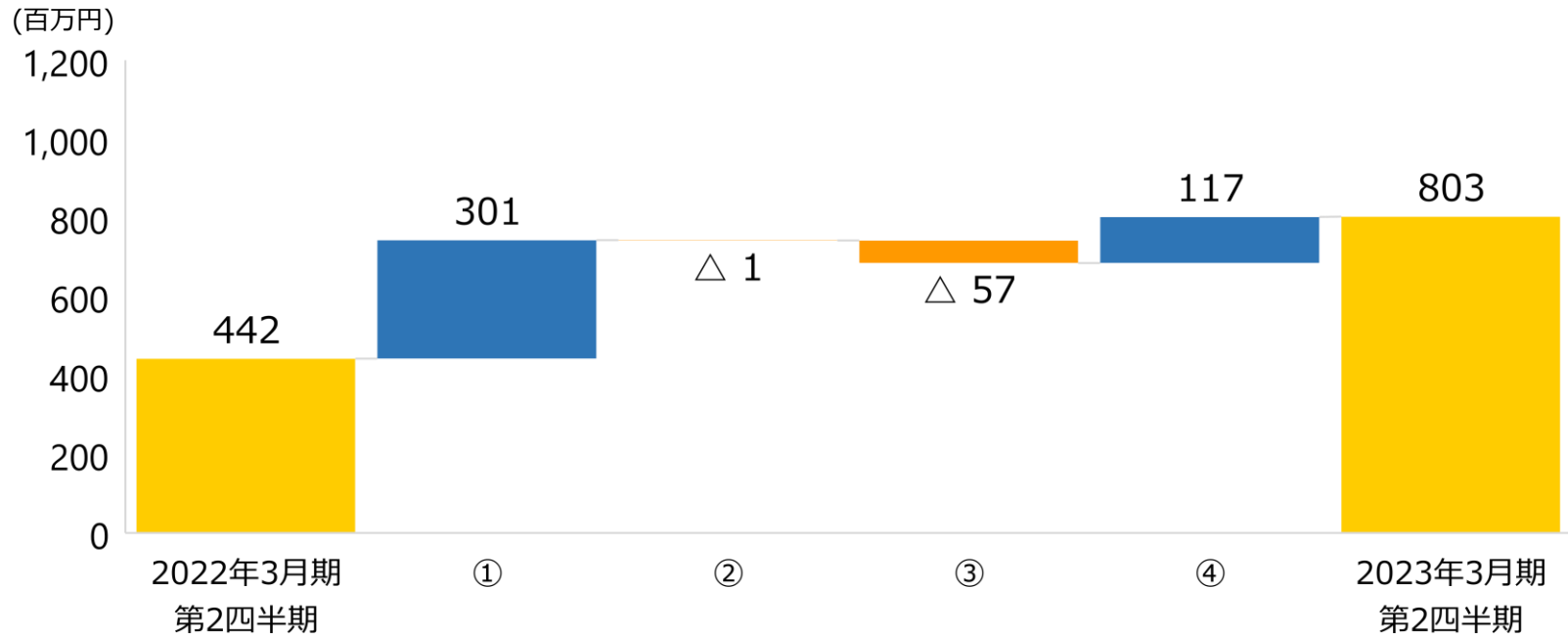
▶クレジット、金融、官公庁及び製造向けが牽引し、前年同期比で増収増益

|                      | 2022年3月期<br>第2四半期 |       | 2023年3月期<br>第2四半期 |       |       |       |       |      |
|----------------------|-------------------|-------|-------------------|-------|-------|-------|-------|------|
|                      | 実績                |       | 期初予想              |       | 実績    |       |       |      |
|                      | 金額                | 売上比   | 金額                | 売上比   | 金額    | 売上比   | 前年同期比 | 予想比  |
| 売上高                  | 5,626             | 100.0 | 6,310             | 100.0 | 6,960 | 100.0 | 23.7  | 10.3 |
| 売上総利益                | 1,272             | 22.6  | 1,430             | 22.7  | 1,691 | 24.3  | 32.9  | 18.3 |
| 販管費                  | 830               | 14.8  | 950               | 15.1  | 887   | 12.7  | 6.9   | △6.6 |
| 営業利益                 | 442               | 7.9   | 480               | 7.6   | 803   | 11.5  | 81.6  | 67.4 |
| 経常利益                 | 472               | 8.4   | 500               | 7.9   | 827   | 11.9  | 75.1  | 65.6 |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 307               | 5.5   | 320               | 5.1   | 526   | 7.6   | 71.1  | 64.4 |

(百万円、%)

## 1-2. 営業利益の増減要因分析（対前年同期比）

▶ 増収及び稼働率の改善に伴う増益が販管費の増加を上回り、大幅な増益達成

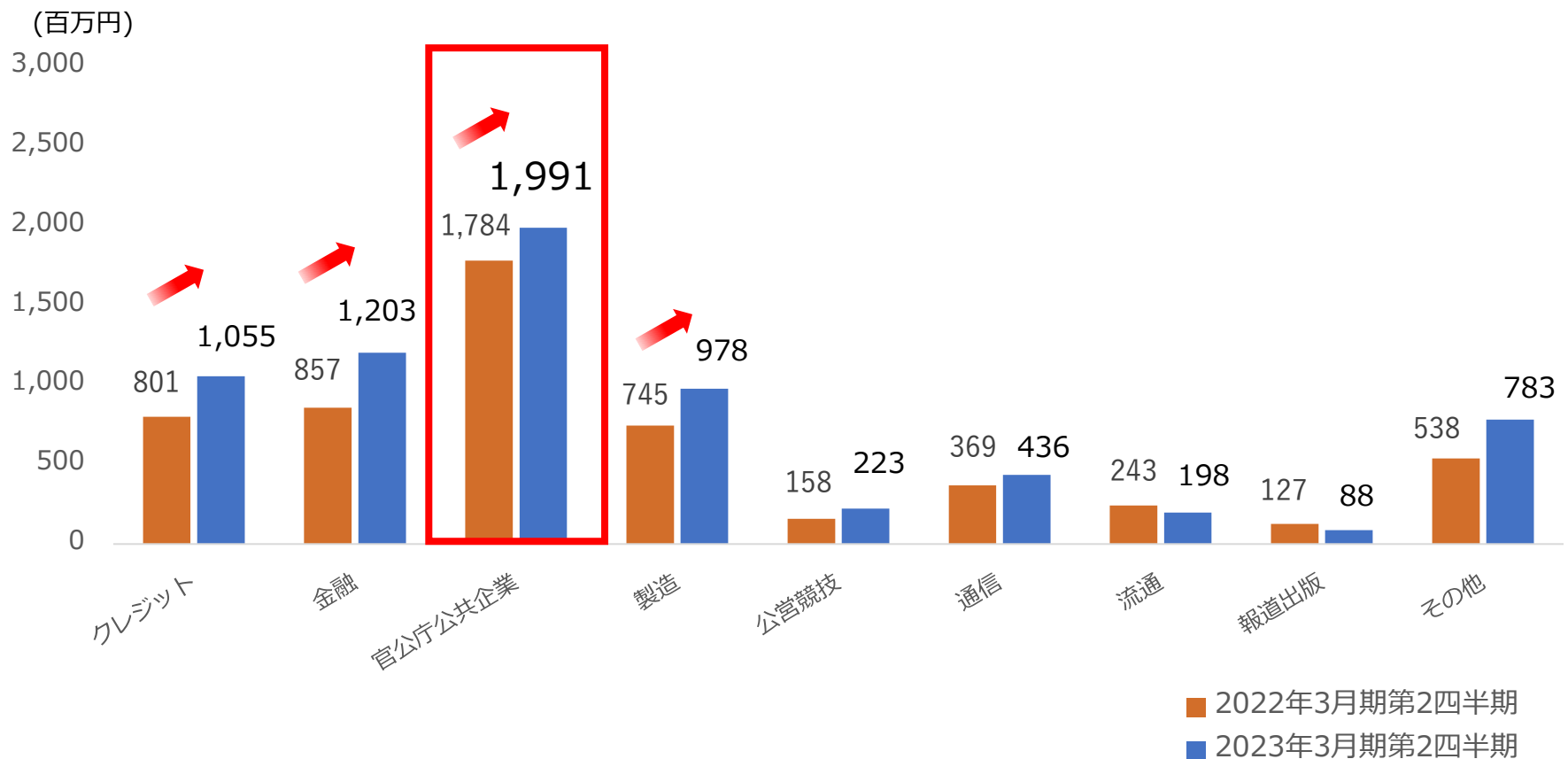


- ① 売上高増加に伴う増益
- ② 不採算プロジェクト

- ③ 販管費の増加による減益
- ④ 原価率の改善

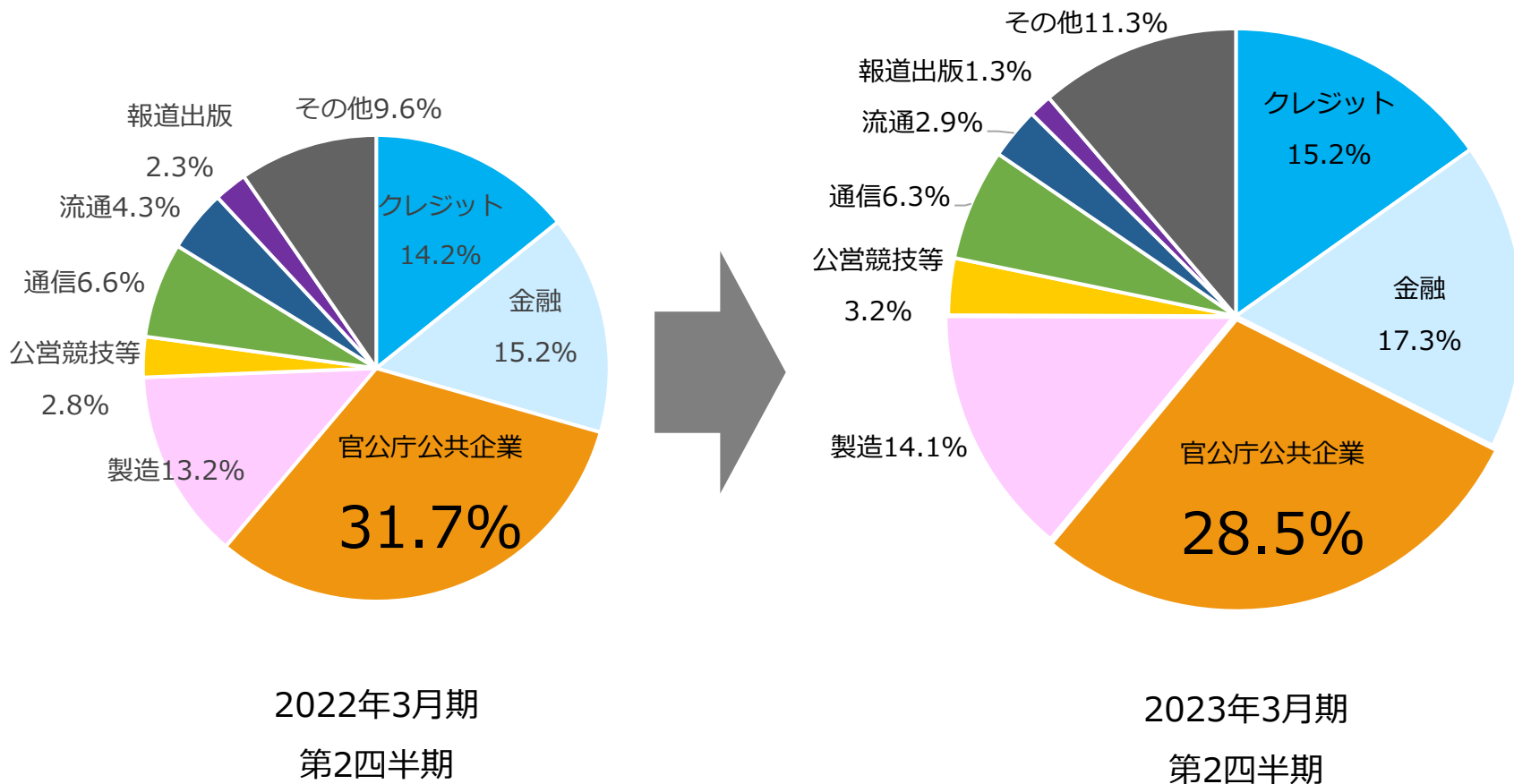
### 1-3. 業種別売上高

- ▶ ほぼ全ての業種において上向き傾向。特に「クレジット・金融」、「官公庁」、「製造」などの分野が続伸



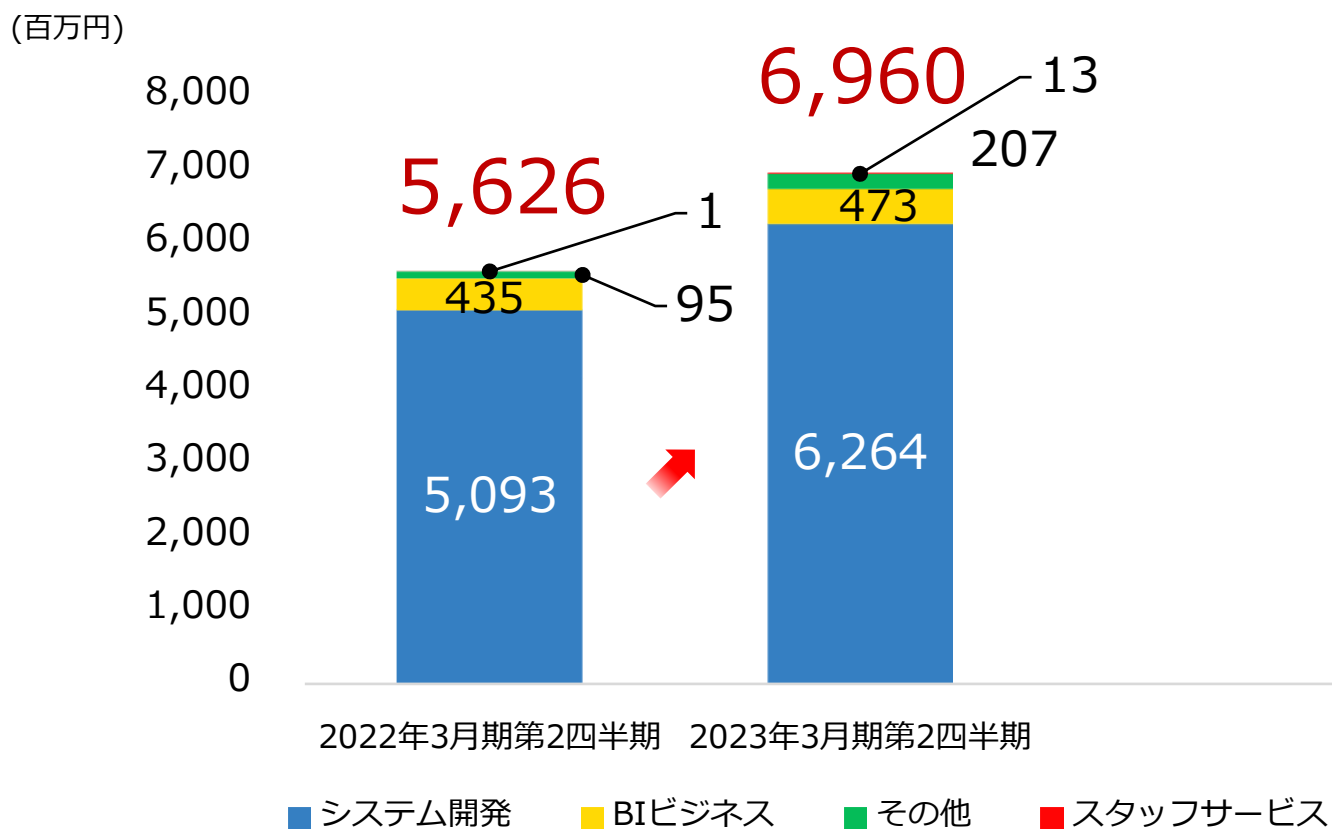
## 1-4. 業種別売上高 構成比

▶金融・クレジットが拡大、「官公庁分野」は引き続き全体の1/3



## 1-5. 事業別売上高

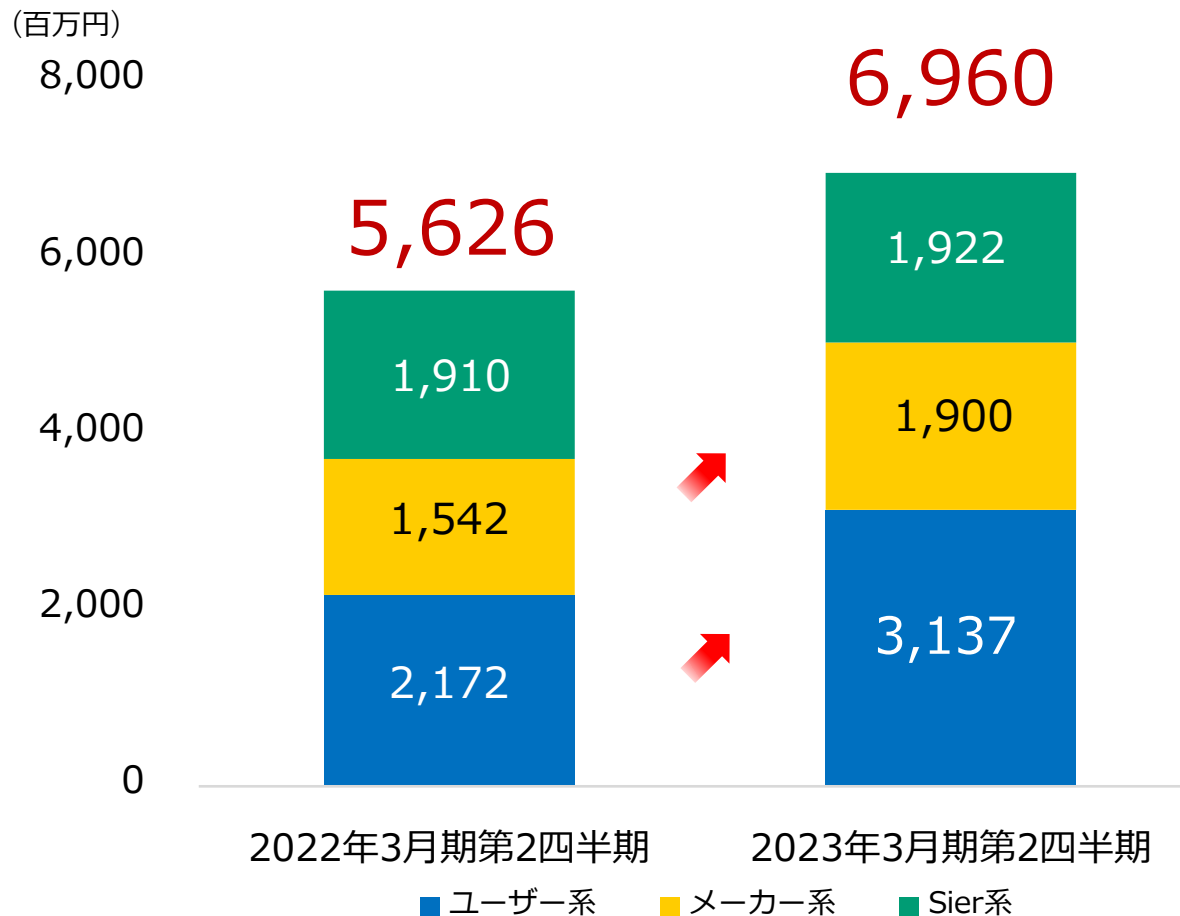
- ▶ 「コア事業」を支えるシステム開発が拡大するとともに、BIビジネスも着実に伸長





## 1-6. 契約先別売上高

▶ メーカー系、ユーザー系が大幅に伸長。Sier系は堅調に推移



## 1-7. 2023年3月期 業績予想（連結）

▶官公庁分野を中心とした事業の拡大により、売上高は約5%の伸長を見込む

|                     | 2022年3月期 |       | 2023年3月期（予想） |       |      |
|---------------------|----------|-------|--------------|-------|------|
|                     | 金額       | 売上比   | 金額           | 売上比   | 増減比  |
| 売上高                 | 12,119   | 100.0 | 12,700       | 100.0 | 4.8  |
| 売上総利益               | 2,700    | 22.3  | 2,940        | 23.1  | 8.9  |
| 販管費                 | 1,591    | 13.1  | 1,790        | 14.1  | 12.5 |
| 営業利益                | 1,109    | 9.2   | 1,150        | 9.1   | 3.6  |
| 経常利益                | 1,171    | 9.7   | 1,190        | 9.4   | 1.6  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 765      | 6.3   | 770          | 6.1   | 0.6  |

（百万円、%）

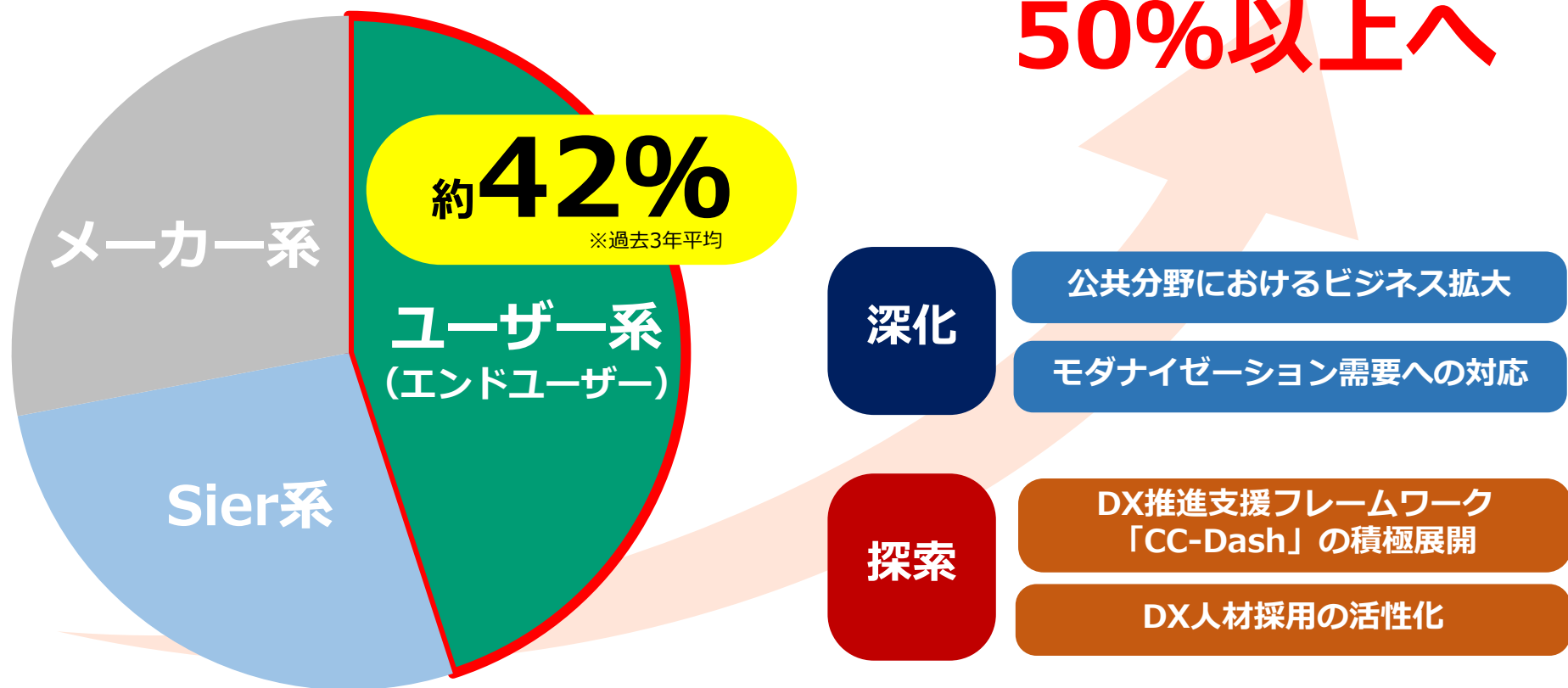
## 2. 主要な取組み状況

---



## 2-1.両利きの経営の進捗について（深化と探索）

- ▶さらなる事業成長に向けて、両利きの経営（深化と探索）を実践し、  
エンドユーザー比率のさらなる向上を目指す



## 2-2-1.両利きの経営（深化）-公共分野におけるビジネス拡大

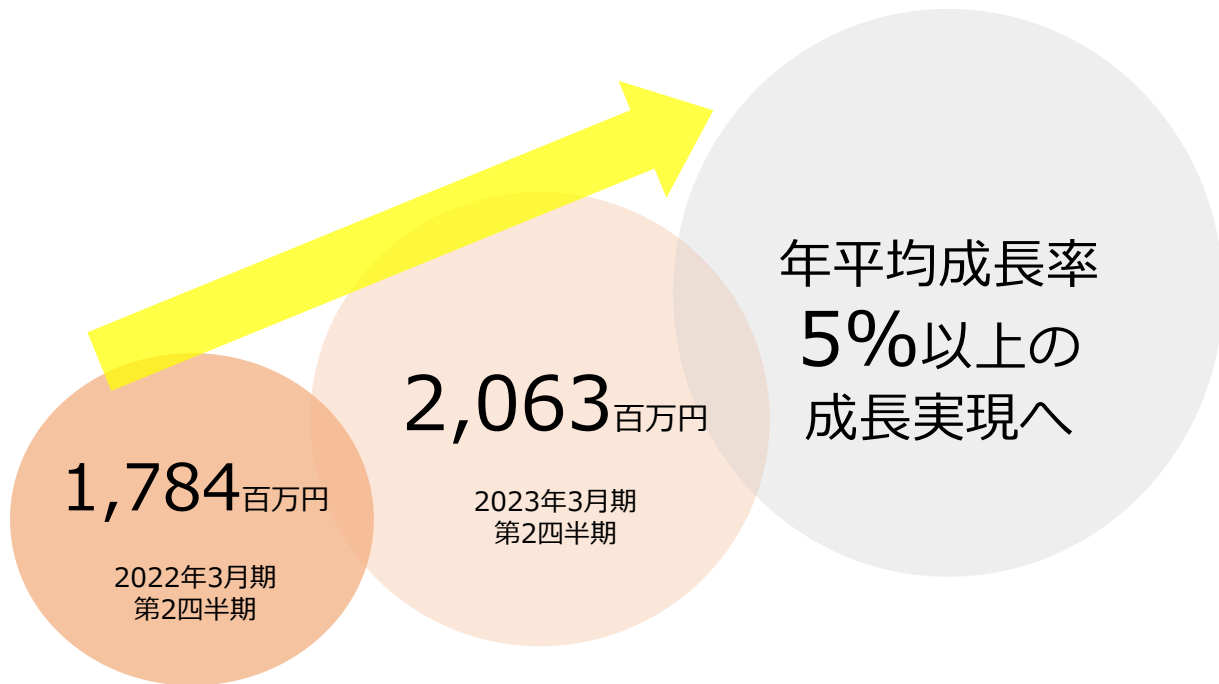
▶ 当社の強みを発揮した伸長する公共分野（官公庁・地方自治体・公営企業など）への積極展開



当社の強み

「技術力」 × 「革新」

- CMMIレベル5達成  
(公共第1ビジネス事業部公共第1部)
- 入札資格全省統一資格Aランク
- 先端ITスキル
- 官公庁システムの豊富な実績・ノウハウ

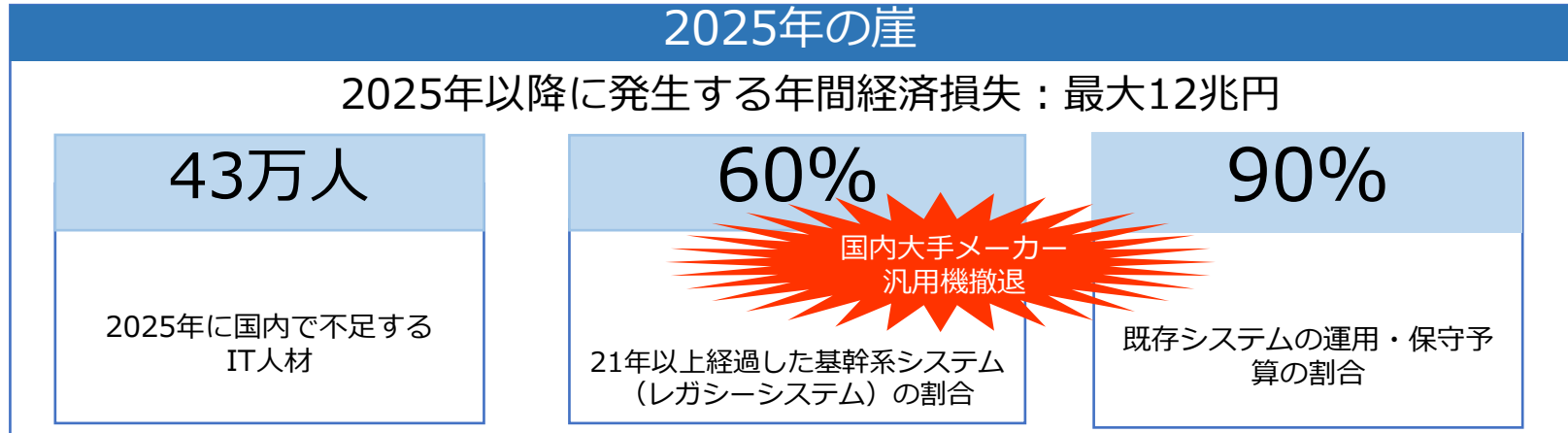


官公庁・地方自治体・公営企業



## 2-2-2.両利きの経営（深化）-モダナイゼーション需要への対応

- ▶ お客様のDX推進を加速させるためのモダナイゼーション支援を強化



### レガシーシステムのモダナイゼーション需要拡大

金融・クレジット・流通・製造など各分野

OpenLegac

×

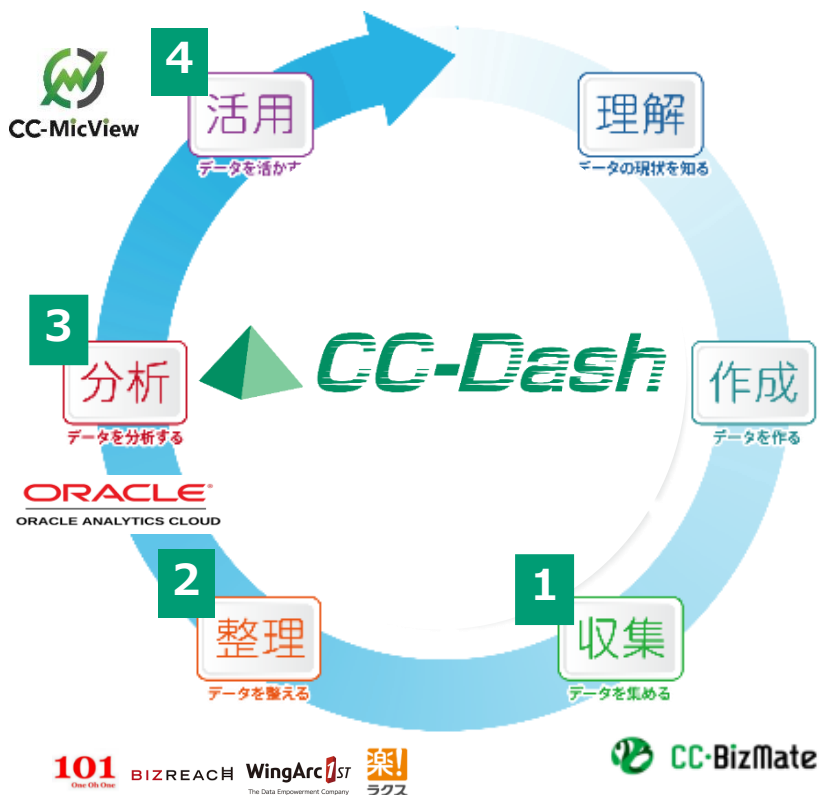
XCCIT

オープンレガシージャパン株式会社と協業開始

※モダナイゼーション：企業の情報システムで稼働しているソフトウェアやハードウェアなどを、稼働中の資産を活かしながら最新の製品や設計で置き換えること。

## 2-3-1.両利きの経営（探索）

▶ 当社独自のDX推進フレームワーク「CC-Dash」の積極展開



### 1:収集

クラウド勤怠管理システム「CC-BizMate」



### 2:整理

積極的なアライアンス推進



- ・タレントマネジメントシステム「スキルナビ」（ワン・オー・ワン社）
- ・採用管理クラウド「HRMOS採用」（ビズリーチ社）
- ・電子帳票プラットフォーム「invoiceAgent」（ウイングアーク1st社）
- ・楽楽シリーズ（ラクス社）

### 3:分析

CC-Dash活用によるDX支援事例



Oracle Cloud Infrastructure

### 4:活用

経営ダッシュボード構築支援サービス「CC-MicView」



## 2-3-2.両利きの経営（探索） - 「CC-Dash」の積極展開

### 1:収集 クラウド勤怠管理システム「CC-BizMate」

▶ 勤怠管理機能だけでなく、工数管理機能や災害時などの従業員安否確認機能などを標準搭載し、お客様の人事DXの推進に貢献

OEM  
による拡販

協業各社との  
機能連携による  
拡販



工数管理  
機能

安否確認  
機能





## 2-3-3.両利きの経営（探索） - 「CC-Dash」の積極展開

### 1:収集 「CC-BizMate」活用によるDX支援事例

▶独自のクラウド勤怠管理システム「CC-BizMate」を通じて、人事DXの推進に貢献

当社独自の  
クラウド勤怠管理システム



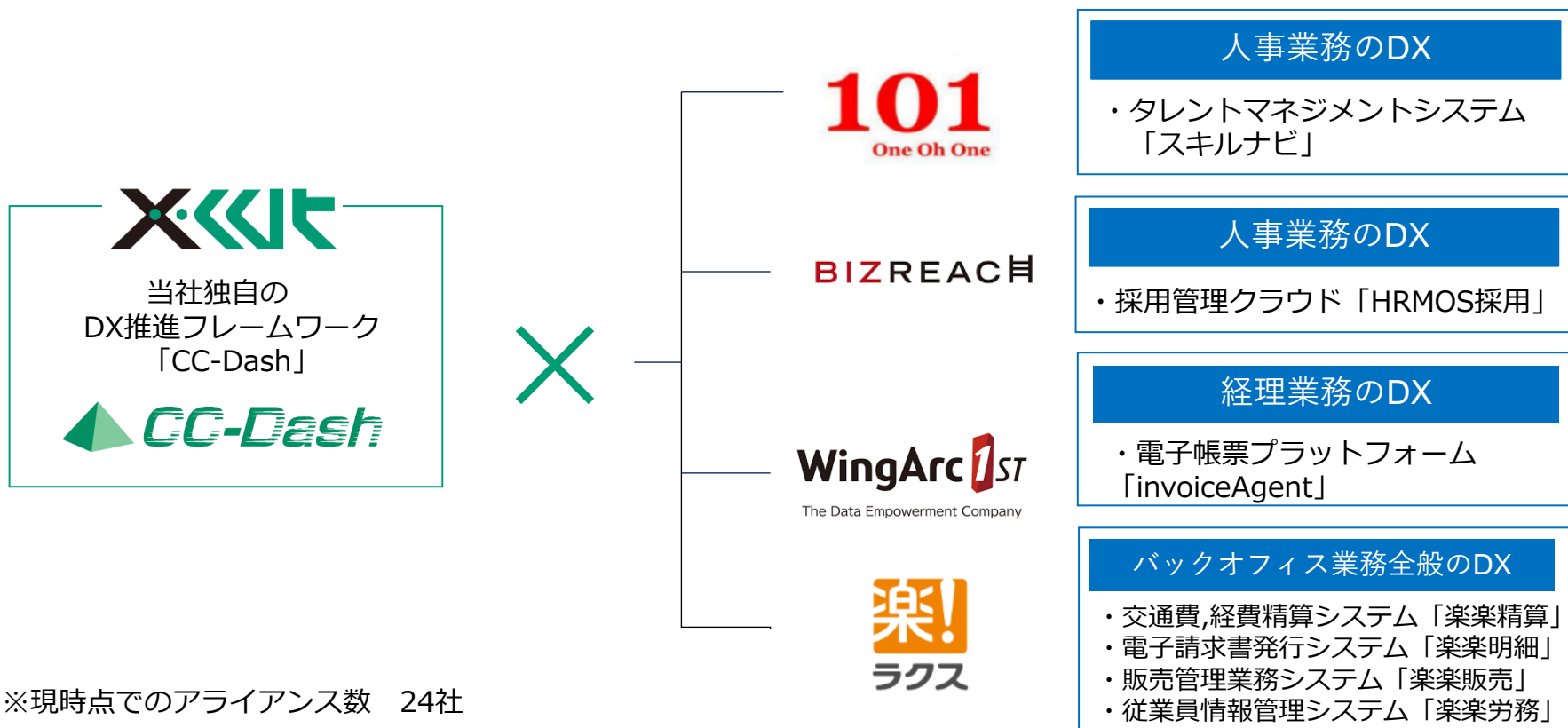
人事DXの推進に貢献

|  |   |
|--|---|
|  新渡戸文化学園        | <p><b>課題</b> 全職員220名の複雑化した勤務状況の正確な勤怠管理</p> <hr/> <p><b>解決</b> 変則労働時間制の複雑な勤怠管理業務を大幅に効率化</p>                        |
|  カネサ藤原屋         | <p><b>課題</b> 従業員250名の適切な労働時間管理とリアルタイムな勤怠把握</p> <hr/> <p><b>解決</b> 変則勤務シフトにも対応した勤怠管理を実現すると同時に、社員の残業時間に対する意識が向上</p> |
|  旭シンクロテック株式会社 | <p><b>課題</b> 建設業特有の現場業務など、多様な勤務形態に対応する勤怠管理</p> <hr/> <p><b>解決</b> 場所にとらわれない打刻機能により、リアルタイムで正確な勤怠把握が可能に</p>         |

## 2-3-4.両利きの経営（探索） - 「CC-Dash」の積極展開

2:整理 積極的なアライアンス推進※

▶バックオフィスのDX推進を支援するソリューションサービスの拡充



※現時点でのアライアンス数 24社

## 2-3-5.両利きの経営（探索） - 「CC-Dash」の積極展開

### 3:分析

### CC-Dash活用によるDX支援事例

▶ OCI（Oracle Cloud Infrastructure）上でデータ分析基盤を構築し、DX推進に貢献



|  |   |
|--|---|
|  <p>社会医療法人財団 白十字会<br/>佐世保中央病院</p> | <p><b>課題</b> オンプレミス環境のBIシステムのコストを抑えたバージョンアップ</p> <hr/> <p><b>解決</b> データベースの仕様を大きく変更することなく、OCIへ移行して運用管を容易に</p> |
|                                  | <p><b>課題</b> 販売や在庫など別々のシステムで管理されているデータの分析</p> <hr/> <p><b>解決</b> データ分析基盤構築により、データの一元管理、大量データの横断的な分析が可能に</p>   |
|                                | <p><b>課題</b> 基幹システムの運用負荷低減</p> <hr/> <p><b>解決</b> OCIによるクラウド化と帳票システムの統合により、煩雑な運用の負荷を大幅に低減</p>                 |

## 2-3-6.両利きの経営（探索） - 「CC-Dash」の積極展開

### 4:活用

経営ダッシュボード構築支援サービス「CC-MicView」提供開始



- ▶ 社内に点在する様々なデータ（勤怠、商談情報、人的情報、グループ企業情報、財務情報など）の一元管理・可視化を実現し、データドリブン経営をサポート

A screenshot of the CC-MicView dashboard. The dashboard displays various data visualizations including a line graph, a bar chart, and several circular progress indicators. The text 'タイムリーな経営判断で 攻めの投資へ' is overlaid on the dashboard. The CC-MicView logo and the text '“経営ダッシュボード”用テンプレート' are also visible. A yellow circular badge in the bottom right corner of the dashboard area contains the text '年間 330時間 削減' (Annual 330 hours reduction).

タイムリーな経営判断で  
攻めの投資へ

CC-MicView

“経営ダッシュボード”用テンプレート

年間  
330時間  
削減

## 2-3-7.両利きの経営（探索） - DX人材採用の活性化

### ▶ 新卒スペシャリスト採用活動の積極展開

先端IT人材の  
採用強化

新卒  
スペシャリスト採用  
開始

AI、サイバーセキュリティ、  
データサイエンス等



データ分析  
経験者対象の  
ハッカソン

拡大するDXニーズに対する人的資本の強化

\*本資料についてのご注意

本資料は、当社の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。